

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373400486
事業所名	グループホームせんじゅ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し回覧板で地域情報は得られている。ケアマネ主催の地域行事の際は飾り物を提供したり、甲冑着付け体験に参加する等地域住民と良好な交流関係を構築している。。またマジックショー、紙芝居等ボランティアの受け入れも行なわれ交流が図られている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は市の職員、あんしん相談センター職員、グループホーム花えくぼ管理者、家族等の参加で年六回開催され、今年度は三回対面で開催が出来る。会議ではホームの状況、行事、ヒヤリハット、事故事例等報告し参加者からの意見、助言等はホームの運営に活かされている。また家族から感謝の言葉が得られている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市の担当者とは日頃から電話で相談や連絡を受けている。また書類申請で窓口に向く際にもホームの状況を話し協力関係を図っている。あんしん相談センター職員とは入居の件や市役所の催事コーナーの催し等の相談を受ける等協力体制が築かれている。市主催の研修の連絡を受け職員は参加しカンファレンスで報告される。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族には電話やメールで連絡事項や利用者の様子を伝え、意見要望等出された場合はラインワークスで共有され速やかな対応に努めている。毎月利用者の写真やコメントを載せた「せんじゅだより」を発行し家族に郵送し喜ばれている。利用者からの意見要望は日々のケアのなかで聞きだしているが特に入浴中に聞く機会が多く、カンファレンスやラインワークスで共有し支援に反映させている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎	○							

備考欄